

するもの。亦若し神がアダムを殺さなかつたならば其は即ち神が嘘言者である事を示してゐる」と。斯くして神の言は係争の中心となつた。神の聖言と其の聖名と其れの擁護は被造物が経験によつて教訓を得る如き事の總てにも勝つて重要なものである。

此の場合エホバが執られた行動に就て聖書の示す處に見ると即ち斯うである。サタンは叛逆して悪を行はし始め、神の聖言と聖名に挑戦して來た。神は云はれた、「サタンは我が言と名に挑戦して來た。彼をして思ふ限りの悪をなさしめよ。我が子のロゴスは我を愛し、喜んで我が旨を行はんとす。我はロゴスによつて人間に對する贖ひの道を備ふべし。故にロゴスは一個の人間となりて犠牲的死を遂げる事によつて人間に對する贖ひの道を備へん」と。之は必ず成就すべきであつた。即ち神が其の行動を開始したのは其の愛の發露によるものであつて、神の智は神の目的を成就する爲に贖價の祭物を備へたのである。エホバはイエスを死より復活せしむる己が能力を御存知であつた、そして其の如くに實行されたのである。

全人類はアダムの罪の故に死を遺傳した、(ロマ書五章十二節)。神は其の愛に基いて愛する獨子を死に付し、彼を信する者に永久の生命を得せしめらる、(ヨハネ傳三章十六節)。神の御豫定の時至るに及びて、エホバの執られし此の方法は全人類に知らされ、彼等は皆キリストによつて神に服従し、恩恵を受けて生命を受くるの機會を有する事となるのである、(ロマ書五

章十八節。六章廿三節。

イエスの來る數千年以前に於て神は其の御言を以てイエスの來るを示し、そして其の通りに實行された。神はその言を守りて之を顯し示された。之ぞ即ちエホバが、イエスを此の地上に遣はし、イエスは如何なる境遇と場合にあつても常に其の貞節をエホバの御前に保たれる事を最初より知悉してゐられた事を明白に立證してゐる。之に依てエホバは其の御言の絶對確實にして義しきものなる事を立證し、サタンが起した係争問題に對する勝利がエホバに全く歸した事を決定された。

サタンはイエスを試みて、恰もアダムの上になした如くイエスをも落第せしむる事に極力努むる事をエホバから許された。アダムは如何なる點より見ても完全なる人であつた、その如くイエスも如何なる點より見ても完全なる人であつた。此の兩者は全く相等しき完全なる人間であつた。然らざればイエスはアダムに對する贖價となる事は出來ない。アダムは神に對する貞節を保つ事に落第した、そして之には赦さるべき口實が絶無である。然しイエスは固く其の貞節を保ち守られた、而して神はイエスを以て人類の救ひ主となし、宇宙に於て御自身に次ぐの最高位に彼を引き擧げられたのである。

之に依てエホバは其の聖言の確實なるを立證し、其の御力の最高至上なると、エホバは義



なる神に在して其の救ひの御目的を信する者を養とし給ふ神なる事と、其の智の完全なる事と、最上の愛を實行されし事とを立證されたのである。神エホバを信する者は、其の聖言の確實なるを立證されし事と、神の言に關してサタンの起した係争問題は神の大勝とその永久の榮光に歸した事とを知るのである。

エホバは先づその預言者達を通じて語り、然る後に神の大預言者イエスを遣はされた時にイエスによつて眞理の御言を語り告げて、以前に預言者等を通じて示されたる言と完全に一致せしめ給ふのである、(ヘアル書一章一、二節)。然る後に神は此の世から神に喜んで服従する男女の一團を取りて彼等をキリスト・イエスと共に祭物の契約に入れられた。之等の男女は神エホバに忠信なりし故によりてサタンと其の代理者から非常なる迫害の標的とされたのである。

斯くして召されたる者の多數はサタンに依て脱線し墮落されて了つたが、然し必要なる少數者は依然神に對する貞節を保ち続け、神の御言と聖名を固く執りて之に頼り、エホバの御保護に絶對信頼してゐるのである。之等の「遺殘者」級の忠信者は今喜んで云ふ「新しき歌をエホバに向ひて歌へ、……エホバの御言は直く、その凡て行ひ給ふ所は眞實なればなり」(詩篇卅三章三、四節)。「草は枯れ、花は凋む、然れど我等の神の言は永遠に立たん」(イザヤ

書四十四章八節)。

アベルの時から洗者ヨハネの時に至るまでに極めて少數者のみがエホバの僕となり、その聖言を托されたる預言者となつた。之等の人々はサタンと其の代理者から總らゆる種類の迫害の標的とされたが、彼等は其の迫害の眞中にあつて神に對する貞節を固く保持してゐたのである。彼等は神の御言を信じ、神の導きに信頼した。神は人類を祝福する爲にイエスを見えざる支配者となすと共に、之等の忠信者を地上に於る見ゆる支配者となしてキリストの下に働かしめられるのである、(ヘアル書十一章一―四十節。詩篇四十五篇十六節。イザヤ書卅二章一節)。斯くしてエホバは其の御言の確實なるを立證してそれを宣揚し、サタンとの係争問題に大勝して全てを己が榮光に歸せしめられた。

神の聖名

エホバの御名は最初からサタンによつて誹られてゐた、サタンはエホバを嘲笑する爲に人々をして互ひにエホバの名によつて呼び交さしめた、(創世記四章廿六節)。サタンはベビロン、埃及、アツスリヤ及び其の他の世界強國を組織して之等に惡魔の宗教を充滿させ、それ等を使ひ、特に宗教的分子を用ひて神エホバの聖名を冒瀆誹謗したのである。今日全地上にある諸宗教は皆公然と隱然との別なく悉くエホバ神の聖名を汚瀆してゐる。聖き預言者は記す、



「エホバを己が神とする國は幸福なり」(詩篇卅三篇十二節)と。然らば一九三一年の今日に於て、全地の諸國中エホバに全く歸順し、其の聖名を崇めつゝある國は一としてありや。人々よ、之に答へよ。即ち其の答は「絶無」である。此の世の宗教と政治と商業は一致聯繫して諸國の民衆を暴壓し、其の内實はサタンを主公に戴きつゝ表面丈は徒らに神エホバの御名を呼びつゝあるのである。(コリント後書四章三、四節。ヨハネ傳十四章卅節)。

過去に於て神は其の御言を聖名よりも高く擧げられた事もあつたが、然し今、神が其の御言と聖名とを共に併せて擧げ給ふの時が到來したのである。其の聖言と聖名は共にシオン即ち神の組織制度によつて高く宣揚されつゝある。(詩篇百二篇十六節。百卅二篇十三節)。今、地上には神エホバによつて「遺殘者」と呼ばるゝ少數の忠信者あり、神の聖名に對する證言を爲すの光榮が彼等に委ねられてある。彼等は神が取り給ひし「神の名を崇むる民」(使徒行傳十五章十四節)である。斯かる者に對してエホバは告げ給ふ、「我わが言を汝の口に置き、我が手の蔭にて汝を掩へり。斯くて我天を植ゑ、地の基を据ゑ、シオンに向ひて汝は我が民なりと云はん」(イザヤ書五十一章十六節)。

「誰が全能者か」と云ふ係争問題を永久に解決する豫定の時が今既に迫つてゐる。神は惡しき者サタンが過去數千年間に亘つて其の惡を行ふのを放任して置かれた。そして神は其の

必要に應じて神を愛する人々の福利となる爲に其の都度御名を高く擧げて示されたのである。(サムエル後書七章廿三節。イザヤ書卅七章一―卅六節)。今日、自らクリスチヤンなりと稱し、又キリスト教の師なりと稱する徒が、人間の創造と其の不從順の結果墮落せる事、キリストの血に依て救済の御目的が立てられある事を明示する神の聖言を公然と否認し、それによつてエホバの聖名を汚濁誹謗してゐる。彼等教職者は神の聖名を汚濁する邪教理を人々に教へ、又己等がサタンの組織制度に妥協し、握手し、共働しつゝある事を公然と聲明してゐる。彼等の言行は即ちエホバに對する嘲弄となり、誹謗となる。「かの者等はヤンネとヤンブレとがモーセに逆ひし如く、眞理に逆ぶ者、心の腐れたる者、また信仰に就ては棄てられたる者なり」。何故なれば彼等の主公がサタンであるからである。エホバは彼等に就て示し給ふ、「されど此の上に尙ほ進む事あらじ、そはかの二人の如く彼等の愚なる事も亦すべての人に顯るべければなり」(改譯テモテ後書三章八、九節)。惡行爲には制限がある、而してサタンと其の代理者等は既に此の制限されたる點にまで到達したのである。「誰が全能者なるか」の大問題は今や正に永久的の解決を見んとす。然らばサタンとエホバの何れが全能者なるか。

エホバは宣ふ、「我はエホバなり、是わが名なり。我は我が榮光を他の者に與へず」(イザヤ書四十二章八節)。エホバは今、盲者なる人々に向つて其の最高至上の力と智、義、愛を顯し



示し給ふ。神は全地の民を召し集めて彼等が眞理を知つて其の歩む道を明かになし、エホバが唯一の眞の神なる事を知るべきを命じ給ふ、「汝等は我が證人なり……我は神なり……我より前に造られし神なく、我より後にも有る事なからん」(イザヤ書四十三章八―十二節)。

此の大係争問題は今や永久的に解決を見んとす、而して神はサタンと其の組織制度を撃滅して其の解決を示さるゝのである。神は今忠信なる證者達をして此の通牒を全地諸國の人々に交附せしめて惡の公行を廢絶せしむる聖旨を傳達せしめ給ふ。神は審判の爲に全地の諸國を集合せしめらる、(ヨエル書三章十四節)。諸國は今集合してゐる。神は彼等の上に審判を示し、聖怒を顯示してサタンと其の組織制度を破却さる、(ゼパニヤ書三章八節)。之ぞ即ち惡の放任期間の終結である。

神は最初にサタンを撃滅する替りに先づ彼をして己が有する權能の限りを盡して惡行爲を遅くせしめて神に敵對するを放任して置かれた。それと共に其の放任の期間を通じて神を求めて義を行はんと心より願ふ人々の前に聖言と聖名とを固く守り、彼等を敵の攻撃より保護されたのである。サタンがエホバの有し給ふ最高の力、智、義、愛に對し己が全努力を傾注して誹謗汚濁の限りを盡したる時に、エホバは其の大戦に於て地上に於けるサタンの惡行爲を廢絶し給ふ。斯くしてエホバは自ら最高の權能者に在し、全能の神、至上神に在してエホバ

バの外にはエホバの如き神の絶無なるを明かに爲し給ふのである。斯くする事によつてエホバは全被造物の口を閉ぢて、彼等をして他にもエホバの如き神ありとの如き言を出す事を永久に無からしめ給ふ。之ぞエホバが唯一の全能者なる事を知らしむるに最も有効なる方法である。

エホバは人々の盲目状態を開いて見せしめ、彼等をして永久の生命は神エホバが備へし其の愛子キリスト・イエスの犠牲を通じて賜はる方法以外には得る事の絶對不可能なるを知らしめ給ふのである。此の方法によつてエホバは全被造物がエホバに對して信頼を捧ぐるの道を開き、彼等をして、エホバが全能の神に在して完全なる智を所有し給ひ、義なる神に在して人類を義たらしむるの道を備へ、又絶對無私の完全なる表現によつて絶對の愛に在す神なる事を知らしめらるゝのである。

其の時全人類は、サタンは神の敵であり、又義しき事を行はんとする者の敵である事、此の世に行はれた惡逆行爲の全部に對する責任者である事を悟り知る。彼サタンに就て神は其の預言者を通じて大昔に斯く告げ置かる、「然れど汝(サタン)は陰府に落され、坑の最下に入れられん。汝を見るものは熱々汝を視、汝に目を止めて云はん、此の人は地を震はせ、列國を動かし、世を荒野となし、諸々の邑を毀ち、捕へたる者を其の家に解き歸さざりしものな



るか。諸々の國の王たちは悉く皆貴き狀にて各々其の家に睡る、然れど汝は忌み嫌ふべき枝の如く、己が墓の外に捨てられ、其の周圍には劍にて刺し殺され、坑に下され、石に覆はれたる者ありて踐みつけらるゝ屍に異ならず。汝己の國を滅ぼし、己の民を殺し、が故に彼等と同じく葬らるゝ事能はず、それ惡を行ふ者の裔は永久に名を呼ばるゝ事なかるべし」(イザヤ書十四章十五-廿節)。「國々の中に汝を知る者は皆汝に驚かん。汝は人の戒懼となり、限りなく失せ果てん」(エゼキエル書廿八章十九節)。

人々は其の時エホバが唯一の眞の神に在し、全能の「友」なる事を悟り知るに至る。其の預言者を通じて神は告げ給ふ、「地の極なる諸々の人よ、汝等我を仰ぎ望め、然らば救はれん。我は神にして他に神なければなり。我は己を指して誓ひたり。此の言は義しき口より出たれば反る事なし。總ての膝は我が前に屈み、すべての舌は我に誓を立てん」(イザヤ書四十五章廿二、廿三節)。

預言者は又示して人々が眞理を知つた時の状態に就て云ふ、「其の日如此云はん、之は我等の神なり。我等待ち望めり。彼我等を救ひ給はん。是エホバなり。我等待ち望めり。我等その救を歡び樂むべし」と(イザヤ書廿五章九節)。「其の日には只エホバのみ、只其の御名のみにならん」(セカリヤ書十四章九節)。

其の時神を知つて、神を信じ、信賴する人々に代つて預言者は云ふ、「エホバよ、汝は我が神なり、我汝を崇め、汝の聖名を崇め稱へん。汝さきに妙なる事を行ひ、古時より定めたる事を眞實を以て成し給ひたればなり」(イザヤ書四十五章一-四節)。斯くの如く人々は全能の神エホバの全能の力、完全なる智、絶對の義、無限の愛に感謝するのである。

神の御言と聖名の擁護が何故に惡の放任されるかを解決する最も重要な理由である事と、人々が此の惡の状態から救ひ出さるゝ事に就て神の預言者は云ふ、「此の故に汝イスラエルの家に云ふべし、主エホバ斯く言ひ給ふ、イスラエルの家よ、我汝の爲に之をなすに非ず、汝らが其の至れる國々にて汚せし我が聖き名の爲になすなり。我國々の民の中に汚されたる我が大なる名即ち汝らが彼等の中において汚したる所のものを聖くせん。國々の民は我が汝らに由りて我の聖き事を其の目の前に顯はさん時我がエホバなるを知らん」(エゼキエル書卅六章廿二、廿三節)。

イスラエル人をして神に不忠信ならしめたのはサタンである、そして地上全人類の中に惡を漲らしたのも矢張り此の惡逆者なるサタンである、イスラエルは神の選民として神に愛されてゐた。若し神がイスラエル人の爲のみに彼等を救ひ出さるゝに非ずして其の理由が聖名の擁護に在りとするならば、此の理由は更に擴大されて、此の世に惡が放任されあるは單に



人類をして罪の甚しきを経験せしむるのみにあらずして、神が其の聖き御名を全被造物の上に確立するゝが爲なるを示してゐることを明示する。此の事が成し遂げられたる時に義を愛する者は皆等しく斯う歌ふであらう、「榮と能力とをエホバに獻げ奉れ。其の聖名に適はしき榮光をエホバに獻げ奉れ。聖き衣をつけてエホバを拜み奉れ」(詩篇廿九篇一、二節)。

キリストの忠信なる追隨者の「遺殘者」級が今、全地に高く宣揚しつゝあるのは即ち此のエホバの聖名である、(イザヤ書十二、四一、六節)。この全能の神エホバの聖名こそ、人々がエホバを知りて其の愛を學ぶ時に高く宣揚する所のものである。神の預言者は人類が神の御國に落ち着いて皆神の御名を讃頌するの言を預言して云ふ、「全地よ、神に向ひて歡び呼ばはれ。其の聖名の榮光を謳へ。其の頌美を榮えしめよ。神に告げ奉れ、汝の諸々の御業は恐るべきかな。大なる力によりて汝の仇は汝に畏れ服ひ、全地は汝を拜みて御名を讃め歌はん」

(詩篇六十六篇一、四節)。

今日此の時クリスチャンが地上に住むを許される事はイエス在世の時以來最も祝願されたる時である。今彼等が己の全部を盡して至高き神エホバの聖名を讃頌するは彼等に與へられある甚大なる歡喜の特權である。此の偉大なる預言は今や成就の途上に在る、即ち「靈」(エホバと其の愛子イエス・キリストは何れも偉大なる靈に在す……コリント後書三章十七節) と新婦

(殿の中に在りて神エホバを讃頌す……詩篇廿九篇九節)とは云ふ、來れと。之を聞く者も、來れと云へ。渴く者は來るべし。願ふ者は價なしに生命の水を飲むべし」(歌示錄廿二章十七節)。義を愛好する人々よ、汝等は來りて皆エホバの味方に馳せ參ぜよ、而して神を愛する人々をして此の奇しき神の御業を他の人々に告げしめよ、エホバに感謝して其の聖名を呼び、其の爲し給へる事を諸々の民等の中に知らしめよ。エホバに向ひて謳へ、エホバを讃め歌へ。其の諸々の妙なる事跡を語れ。其の聖き御名を誇れ。エホバを尋ね求むる者の心は喜ぶべし」

(詩篇百五篇一、三節)。

預

言

——(終)——



# 創造

明石順三 著 ドーオフサル.F.J  
萬國聖書研究会發行

「汝等眼を擧げて見よ。誰か是等のものを創造せしや」

——第六十四章第十四節ヤザイ—— ”へ恩を

天の空の萬象の仰げ。其の神秘にして壯麗なる星の光  
天の文筆は宇宙の星の推定にして十三  
完全なる秩序の下に、観るに喜ぶ。と  
安んずるに、抑はしむる創造の神は誰か？

X X X

「始に神は地と天とを造り給へり」——(第一章一節)——

我等人類の住する此の地球は幾何なるか？  
此の地球は幾何なるか？  
此の地球は幾何なるか？  
此の地球は幾何なるか？

X X X

人間は誰か？ 人間は誰か？ 人間は誰か？  
人間は誰か？ 人間は誰か？ 人間は誰か？  
人間は誰か？ 人間は誰か？ 人間は誰か？  
人間は誰か？ 人間は誰か？ 人間は誰か？

四八二頁、四六  
四色版給諸十六枚入

之等無数の疑問は悉く本書にて解決す

定價一圓  
〔送料八錢〕

發賣所  
燈臺社

座口替番 東京四七一七番

昭和六年三月一日印刷  
昭和六年三月十日發行

〔定價壹圓〕  
〔送料八錢〕

發行所

印刷所

發賣所

東京市外井荻町下荻窪二二二

東京市外井荻町下荻窪二二二

東京市外井荻町下荻窪二二二

明石順三

萬國聖書研究会

萬國聖書研究会印刷部

東京市外井荻町下荻窪二二二

燈臺社

番口替番 東京四七一七番



府

政

ルサフオード判事著  
明石順三氏譯

高田聖書研究会發行

若し諸君が政治に興味を有するならば本書は絶好の良書  
指針である。若し諸君が人類に對して永久の生命、幸福  
白山、平和を興ふる正義の政府の樹立を望むならば本書  
は即ち諸君の要求を充分に満足さす處のものである。本  
書は善良なる政府の出現に關して書かれたる最上無比の  
良書である。本書は全宇宙の唯一創造者たる活ける神エ  
ホバの預言の成就によつて明確となれる聖書に基いて記  
述されたものである。我等は無上の善意を以て本書を  
大方各位に推薦す。

三八四頁、四六判  
四版、十六枚入  
クロロニス上製

定價一圓 (送料八錢)

◎るな缺無全完に爲の社福の類人全上地は書本◎  
◎す置立に確明を實事る見を現實の府政の義正◎

所 賣 發

社 臺 燈

番二一七四京東 座ロ替攝

# 和 解

J.F.ルサフオード著  
明石順三氏譯

高田聖書研究会發行

アダムとエバの失樂園の事件より此の書は端を發す。  
其の間の微妙なる描寫に次で、人間が如何にして貧窮  
者となり苦難の人となつたかとの経路を活畫的に描出  
し、神は人類を罪と死より救ひ人間を己れと和解せし  
むる爲にアブラハム契約、律法の契約、祭物の契約、  
新約を如何に準備し如何に運用されるかとの本體的問  
題の説明や、人間は如何にして神との和解に入れられ  
昔アダムとエバがエデンの樂園にあつた時の如き幸福  
なる状態に如何にして導かれるかといふ人間必讀の事  
柄を厳正なる聖書の立場より細説せるもの。幸福を翹  
望する諸士の愛讀を待つ。

定價一圓 (送料) 四〇〇頁、四六判  
四版、十六枚入  
クロロニス上製 四色版繪畫十六枚入

所 賣 發

社 臺 燈

番二一七四京東 座ロ替攝



# 神の救ひ

○人生問題で苦惱する諸士よ、我等は痛等に此の一書の熟讀を御勧めする。現在の世は如何に矛盾多き、愚昧と困惑が満ちる。各國は不戦條約を締結し然も何故に争つて軍備に熱中するか。宗教家を始め政治家、資本家及び民衆は何故今や墮落と腐敗の絶頂に到達せんとしてゐるか。饑饉、地震、暴風雨、悪疫の災禍は何故全地を襲ひつゝありや。此等の不幸なる状態を惹起せしめたる責任者は誰か。人類の過去及び將來は如何。此等の不幸なる状態を惹起せしめたる責任者は誰か。今や人類を其の桎梏下より救済せんとするの御業を小説以上で興味深く語寫せる本書は、現在の苦難下にある諸士に無上の歡喜を與ふるものである。



ルサフオード判事著  
明石順三氏譯

定價八拾錢

(送料八錢)

四一六頁、四六列  
クローズ上製

小説以巨

燈

臺

社

振替口座 東京四七二二番

定價一圓

# 生命

(送料八錢)

若し人全世界を得るとも其の生命を失はば何の益あらんや、また人何を以て其の生命に代へんや。

(マタイ傳十六章廿六節)

○人類は完全なる生命を獲得せんとして過去六千年間を愚昧し研究し奮闘し苦惱して來た。併し彼等徒の努力も結局悲劇に急ぐ葬歌として果なく消えて行つた。  
○人類は貧窮者として墓の前に立ち並び、頓て墓に入るべき己が國の來るを待つてゐるのである。  
○人類が獲得せんとして得る事難はざりし完全なる生命への罪は今や開かれた。  
○全地を樂園と化し其の上に人類をして永久に樂しく生活せしめんとする大創造主の聖旨は今人類の前に開示さる。  
○眞理の扉を開いて完全なる生命への祝福されし道を歩み、自由、平和、健康、繁榮を得んと欲する者は進んで本書を熟讀せよ。

F.J. ルサフオード著  
明石順三氏譯  
眞理聖書研究会發行

三六〇頁、四六列  
深紅色クローズ上製

四色版繪畫八枚入  
二色版繪畫五枚入  
聖地地圖一葉入

發賣所 燈臺社

東京四七二二番 座口替振



定價八拾錢

# 神の立の琴

(送料八錢)

聖書の教科書！

J・F・ルサフォード判事著  
明石順三氏譯

- (一) 創の義の表示
- (二) アブラハム契約
- (三) イエスの誕生
- (四) 贖ひの代償
- (五) 復活の明証
- (六) 真義の開明
- (七) 主の再臨
- (八) 教會の榮化
- (九) 萬物の復興
- (十)

クローネ上製四六判  
本文四一〇頁  
質問欄三五頁  
各章に繪畫挿入

▼上記聖書中の基礎的十個の大真理を最も親切に平易に然も組織的に開明せる聖書の教科書

▼各節毎に聖句を多数引用して聖書の理解を容易ならしむ

▼巻末には三十五頁に亘る詳細なる質問欄を備へ、聖書に關する疑々の疑問質問を網羅せり

▼質問の末尾には夫々番號を附し、本文の各節と對照して其の質問に解答を與ふる方法を備ふ

發賣所

燈

臺

社

無替口座 東京四七一三番

## ◆ 威權一唯之究研書聖 ◆

氏三順石明 幹主

月 刊

# 燈

# 臺

今や日本全部の基礎教雜誌が聖書を捨て、虚しき人間智所産の哲學、神學、傳説等の異論邪説を掲げて此の世に阿諛迎合の營業政策に墮せる此の時に於いて本「燈臺」は全能の神エホバより來る最新の光輝に基きて、聖書中に記されある神の驚喜すべき御目的を最も忠實詳細に解明せる唯一の雜誌なり。

一部二拾錢——一年分二圓廿錢 (送料共)

(外國一年分 二圓七拾錢)——菊版、四〇頁——

發賣所

燈 臺 社

無替口座 東京四七一三番



主幹 明石順三氏

月刊



此の「黄金時代」は聖書の示す唯一真理の立場より現下地上に於ける政治、經濟、宗教、社會、教育、科學に對して徹底的批判を加へ、人間は如何にせば健康、自由、平和、繁榮等を獲得し得るかを懇切平易に説明せる唯一の新聞なり。(傳道用に好適)

一部二錢  
一年分廿五錢 (送料共)

外國一年分五拾錢……  
——(四六倍版、八頁)——

發行所 燈

臺社  
振替口座 東京四七一三番

▼全地よ此の福音に歡喜せよ!!  
ルサフオード判事著 明石順三氏譯

壓制——何時止むか

幸福は必ず來る

▼過去數千年間に亘つて人間は壓制に壓制を以て虐使されて來た。而して此の壓制は何時止むか? これぞ今日全地の人々の切に知らんと熱望する處。虐げらるゝ者よ喜べ。本書は此の最も切實なる問題を解明して一目瞭然たり。

▼人々は皆幸福を望んでゐる。されど現在の社會に於て之を得る事は不可能である。何故か? 我等は眞の幸福到來を期待し得るや。若し到來するとせば何時、誰によつて與へらるゝか。本書の徹底的解明に見よ。

各册共

定價 十錢

(送料二錢)

(各六十四頁、四六判  
極彩色美表紙)

發賣所 燈

臺社  
振替口座 東京四七一三番



★★★ 種二刊新最 ★★★

譯氏三順石明 著事判ドーフサル・F・J

# 犯罪と災害!!

◎現下全地に於る犯罪と其の災害の激増は何を語るか。而して今日地上諸國に權を執る者にして之を取締るに必要なる充分の權能を賦與されあるに拘らず、今や此の犯罪激増の事實に直面して全く手を出す事能はずして己等の無能無力なるを自ら曝露し居たり。本書は犯罪發生の理由と其の撲滅方法に就て天地間唯一無二の方法を宣示す。而して其の方法の何なるかと之を實行する者の誰なるやに就ては本書を精讀せよ。

定價十錢 (送料二錢)

六四頁、四六列  
極彩色美表紙

◎地上諸國は今や其の全力を傾盡して軍備充實に熱中しつゝあり、然も奇怪なるは之と同時に一方に於て平和を切望する痛烈なる叫びが全地到處に滿ちてゐる事である。此の矛盾、此の撞着、之れ抑々何を語るか。著者は本書に依り世界に於ける永久の平和確保の唯一無二の道を著く全地諸國の官民に宣明す。眞に平和を望む者は本書に來りて其の眞相を窺め!

定價十錢 (送料二錢)

六四頁、四六列  
極彩色美表紙

# 戦争か、平和か？

發賣所  
燈臺社

座日替振 番二一七四京東

◎よけ傾を耳よ民萬◎

# 日の末

!!りれ來時の亡滅世の此!!りれ來日の末  
る騒動を何に尋我々抑は亂混と惱苦るつ充に地全や今  
のもるふ教を何は象事るす發無徒以其と戰大界世。か  
本。やぞ何はと日の末のと ！日の末 ！日の末。か  
激を處問の此てい基にと發實の下現と背預の善聖は寄  
。りせ明解に的處

# 判審

ま臨てつ向に僞虚・嗜快・義不正不るす滿充に地全や今  
す通詳は書本て就に 判審大の義正るすとん  
審るす對に者職教一判審るす對にちた者判審 (容内)  
家治政一判審るす對に家本資一判審るす對に國諸一判  
々人一判審るす對に度制職組のンメサー一判審るす對に  
判審るす對に

(列六四・頁四十六各) 行發會究研書聖國萬  
(紙表美色彩極)

J・F・ルサフオード判事著  
明石順三氏譯

定價各冊十錢  
(送料二錢)

發賣所  
燈臺社

座日替振 番二一七四京東



**"PROPHECY"**  
—in Japanese—  
Copyrighted 1930 and  
Published by  
INTERNATIONAL BIBLE STUDENTS ASSOCIATION  
WATCH TOWER BIBLE AND TRACT SOCIETY  
Brookly, New York, U. S. A.  
London, Toronto, Melbourne, Cape Town, Berne, M gdeburg,  
and in other countries.  
MADE IN U. S. A.



終

